



# サンタが双葉にやった CHRISTMAS PARTY 2025

ふたば よもやま話（第三十五回）

## ～外国の国旗になっていたかも？“日の丸”～

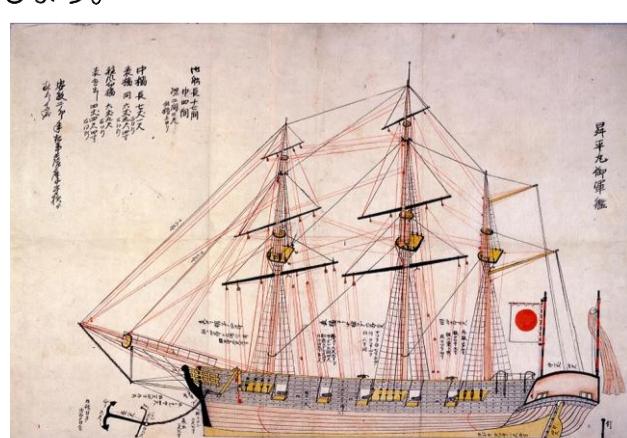
日本の国旗は、言わずと知れた“日の丸”ですが、法律上の正式名は「日章旗」です。

式名は「日章旗」です。世界でも類稀なこのシンプルなデザインには深い歴史があり、赤い丸は日の出の太陽を象徴、紅白は日本の伝統色でめでたいものとされており、赤は博愛と活力、白は神聖と純潔を意味すると言われています。基となるデザインは古代から使われているものの、“白地赤丸”を日章旗として用いるようになった経緯には諸説あり、正確には不明です。

江戸時代、各藩が“国”であり、“日本国”という観念は薄かつたものの、外国の脅威が増してきた幕末、薩摩や佐賀といった開明的な藩主は国旗制定の必要性を幕府に説き、薩摩藩主は幕府に献上した軍艦の船尾部に日の丸を掲揚、これが日の丸を日本の船旗として掲揚した第一号とされていますが、実はこの日の丸こそ福岡県とは深い関係があるのです。また回を改めて紹介したいと思います。

さて、この日の丸。安津素彦氏の著作『国旗の歴史』に、「明治時代に、イギリスまたはフランス、オランダが日の丸の意匠を買いたい取ろうとした」という記述があります。また他書には「1874年（明治7年）の春頃にイギリスが当時の500万円で買収を申し出て、寺島宗則外務卿を相手に交渉した」とあります。この金額は当時の国家予算に匹敵する額とも言われています。心動いた政府ですが、「1000年以上の歴史あるデザインを売り渡すわけにはいかない」と断った、とあります。が、一説によると真偽のほどは不明で、外交上の誉め言葉であったのではなかろうかとも言われています。

このように歴史上の逸話も多い“日の丸”ですが、先の大戦で愛国心や戦意高揚の象徴として盛んに用いられ、軍国主義の象徴であるかの如く扱われたことは、まさに不幸な歴史とも言えるでしょう。



「昇平丸」

かりである。

～生活の舞台～ 第3回目・浴室

入所者の皆様に、清潔に、気持ちよく過ごしていただく為に欠かせない、お風呂。当苑では、多くの方を対象にゆっくりとお湯に浸かつていただける広い浴槽と、通常の浴槽にはお湯を用いただけない方を対象とした特殊浴槽を備えております。入浴中は、スタッフがきめ細かく介助や見守りを行い、安全に、安心して入浴を楽しんでいただいております。また、設備点検や水質検査等の安全管理も徹底して行っています。

入浴の時間は入所者様にとつて貴重な気分転換、リラクゼーションタイムでもあります。寒い冬場はとくに、全身からポカポカ温まる事で、血行促進にも繋がります。しっかりと温まり、入浴後はしっかりと水分を摂つて、これからも永く健康でいてくださいね。



## 「生活の舞台」 第3回目・浴室

今月の予定（1月）

石橋胃腸内科医院 回診（毎月曜日）  
5日、19日、26日

小倉蒲生病院 回診  
8日（木）  
小倉南歯科医院 回診（毎火・木曜日）  
6日、8日、13日、15日、20日、22日、  
27日、29日

ビューティヘルパー（訪問理美容）  
13日（火）

正月行事（御神酒・甘酒、演武披露 etc.）  
1日（木）

【編集雑記】▼今年も年末恒例のクリスマスを迎えた。クリスマスは「存知のように、イエスキリストの生誕を祝う行事である。佛教徒にとって、釈迦の誕生日を祝う「花まつり」と同意、日本発祥の宗教ともいえる神道に当てはめると、さしづめ天照大御神の誕生日」ということになるだろうが、クリスマスほどの認知度はない。クリスマスは、宗教行事であるとともに、多くの日本人には一つの大イベントとして普及している▼年末と言えば、入所者様の世代にとってクリスマス以上に定着しているのが、忠臣蔵ではないだろうか。かつては国民的歌手が歌謡浪曲として歌つていたメロディが、必ずと言っていいほど流れているものが、最近は聞かない▼槍の名手・俵星玄蕃はじめ数々の名場面は、後世の創作が多いと言われている。天下の御意見番・大久保彦左衛門や、水戸黄門諸国漫遊にしても然りである。生活が大変で、権力の下に生きていた庶民にとって、胸のすくような話やヒーローが必要だったのだろう▼正義と庶民の味方は必要だったと同時に、よい意味での子供に対する躾や、常識の伝授、さらには因果応報、親孝行などを物語として楽しませ、聞かせる一つの工夫だったのかもしれない▼今年も舞事終えることができた。健康は何物にも代えがたい。入所者様はもちろん、我々